

令和4年3月1日発行

かみすながわ

# 議会だよい

令和3年 第4回定例会

第19号

発 行 上砂川町議会 編 集 議会活性化特別委員会  
上砂川町議会事務局 電話 0125-62-2880

上砂川町のふるさと納税返礼品（一例）



## 掲載内容

- \* 主な議会政務報告について
- \* 提案された意見書について
- \* 一般質問と答弁内容（要旨）について
- \* 行政常任委員会報告について
- \* 町内行事への参加報告について

2P  
2P  
3P  
7P  
7P

## **主な議会政務報告について**

月 日	会 議 行 事 名	場 所	出席者
1・ 1	上砂川神社元旦祭	上砂川神社	議長
5	仕事始め式	役場	議長・副議長
	新年交礼会	町民センター	議長他6名
8	上砂川町成人式	町民センター	議長
11	行政常任委員会	役場	全委員・議長
14	上砂川商工会議所議員新年会	上砂川岳温泉	議長
17	砂川青年会議所新年交礼会	砂川市	議長
21	第1回上砂川町議会臨時会	議事堂	全議員
2・ 3	空知町村議會議長会第1回定期総会 (Zoom)	役場	議長
10	第2回上砂川町議会臨時会	議事堂	全議員
22	第1回中空知広域市町村圏組合議会定例会 第1回石狩川流域下水道組合議会定例会 第1回中・北空知廃棄物処理	滝川市	議長・副議長
	広域連合議会定例会	滝川市	議長
24	議会運営委員会	役場	全委員・議長
25	空知中部広域連合議会第1回定例会	奈井江町	議長・小澤議員

## **提案された意見書**

意見書の議員提案が第4回定例会で2件あり原案のとおり可決され、関係機関に提出されました。

### **意見書案第6号**

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書

提出議員 笹木 笑子  
賛成議員 吉川 洋  
小澤 一文

### **意見書案第7号**

地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

提出議員 吉川 洋  
賛成議員 伊藤 充章  
石田 浩二

## 一般質問（質問者順）



議席番号7番  
吉川 洋 議員

町内の事業者を守るために、空知管内はもとより、全道的にもいち早く、市民へのマスクの配布、生活支援目的の特別商品券の配布、更には事業者支援の為の数々の支援策を的確に且つ、迅速に行つたことは、市民を始め、町内外より高く評価を受けている所であり、我々議会としても全面的に評価支援した所であります。

この様な事を踏まえ、来期、第20期町政を思いますと、今までの経験を生かし、更に市民と共に歩む町政を奥山町長に託し、力強く、我がふるさと上砂川の未来への舵取りを御願いしたく、心より期待する所であります。

御本人の前向きな積極的な御答弁を御期待申し上げ、質問といたします。

### 第20期町政に向けた町長の今後の決意について

奥山町政は、18期、19期と2期8年間が来年4月にて終了しようとしております。

この間奥山町長は大変厳しい財政状況の中、市民と共に、市民に寄り添う行政を掲げ、「町の駅ふらつと」等、数々の新しい取り組みをしてきました。

更に、昨年より全世界が新型コロナウイルス感染のパンデミックとなり、その感染拡大を防ぐため、又、市民、

かいご支援をいただき、第8代町長といたしまして第18期町政を、そび多くの皆様の推挙のもと第19期町政、私自身2期目として、再び町政運営を担わせていただいております。

本町は依然として人口減少、高齢化の進展はトップランナーと非常に厳しい状況にあります。自己評価ではありますが、新たな事業展開により少しずつ、町はよい方向に変わりつつあり、将来に向け持続可能なまちづくりの基盤ができ上がったものと考えており、町政における行政運営は、本年度をスタート年とする第7期町づくり総合計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき進めるとともに、新たな課題にも遅れることなく取り組まとれるを得ません。

私の町長としての任期につきましては来年4月22日までと残り4か月ほどとなりました。町長就任以来進めてまいりました、各種施策の推進にあたり一定の評価をいただいたことにつきまして心から感謝申し上げます。

平成26年4月、多くの皆様の暖

係者より、出馬の要請があつたところであります。

その上で、第20期町政への決意についてであります。これまで2期8年の経験と創り上げた基盤のもと、新たな地域課題などへの道筋をつけ、持続可能な夢と希望が持てる上砂川町の創生に向けた町づくりを推し進める為に、皆様方のお許しをいただけるのであれば、私自身全身全霊を傾け、引き続き町政を担当すべく3期目への挑戦をさせていただきたいと考えておりますことを申し上げ、私からのお答えとさせていただきます。

## 質問要旨

### 答弁要旨

脆弱な財政基盤の抜本的な対策をとれない本町にあつては、地方交付税の動向いかんによつては大変厳しい行財政運営を強いられることも想定され、これら難局をどのように乗り切るのか不安があるのも事実であります。

そのような中、次期町長選にあたりまして、後援会及び一部の町内関





議席番号2番  
藏根 高史 議員

後どのような対策をもつて不登校児童・生徒の減少を図っていくのかお伺いいたします。

加えまして、学校生活への復帰を支援する適応指導教室についてお伺いいたします。中空知管内でもその必要性から芦別市は単独で設置、美唄市、奈井江町、浦臼町は3市町による共同運営、滝川市は近隣市町より広域的に受け入れ可能な適応指導教室を設置しております。本町においても今後何らかの形でこの教室の設置が必要ではないかと考えますが見解をお伺いいたします。

### 答弁要旨

新型コロナウイルスの影響で生活環境が一変し、自粛という生活様式に大人だけではなく、子供たちにとっても不安を感じる日々が続き精神的にかなりのダメージを受けているのではないかと推測されます。

そのような中、小中学校において児童・生徒の不登校が全国的に増加傾向にあり、社会問題化しております。本町においても数名の不登校児童・生徒がいるとお聞きしました。不登校に至るまでには様々な要因があると考えますが、不登校の実状と今

ころです。

本町における不登校の実情と対策であります。現時点で、体調不良や本人自身のいわゆる怠け(怠学)傾向により、遅刻や欠席を繰り返す不登校児童は小学校で1名、中学校で4名いるものの、学校からはテストや修学旅行、体育祭など学校行事には出席・参加できている状態から、完全な不登校状態ではないとの報告を受けております。

また、大きな社会問題であるいじめを理由とする欠席者はおりません。こうした児童生徒に対し、学校においては担任が中心となりこまめに家庭訪問を行い、学習の遅れが生じないよう宿題や学習教材、連絡帳などを手渡し、学校とのつながりを切らぬよう、教頭や養護教諭、中学校に配置されているスクールカウンセラーも対応にあたり、保護者も交え登校を促し、学校全体で子どもたちの心のケアに力を注ぎながら不登校解消に努めているところでござります。

その背景には、登校できない理由にコロナウイルス感染拡大により心に不安を抱えたり、感染を回避することを訴える子どもたちも含まれているとの分析結果もあつたと

ご質問の適応指導教室の設置であります。不登校児童生徒の支援施設として、教育支援センターとも呼ばれ、教員免許や臨床心理士など専門的な資格を有する職員が、学校



以外の場所などで、在籍する学校と連携をとり、個別カウンセリングや教科書を用いた学習指導にあたる施設で、中空知管内の設置状況は議員が述べられたとおりであります。不登校児童の受け皿にはなりますものの、利用するか否かはあくまで保護者と本人の意思であります。

本町においては、指導教室の単独の設置には、このような有資格者の確保が困難でありますことから単独での設置は考えておらず、不登校児童の子どもへは、保健室での学習も可とするよう伝えるなど、学校全体で丁寧な対応にあたっております。ものの、今後、指導教室通学の希望があれば、定住自立圈構想に基づき滝川市と協議をし、広域利用が可能となるよう対応に努めてまいりますことを申し上げ、答弁といったします。



議席番号4番  
小澤 一文議員

るために、無理にマスクを着用していることが多いとも言われています。私たちにはマスクを着用できない方への理解を深め、広く町民に周知をしていくことが求められています。

例えば、マスクの着用が困難なことを周囲に知らせるための、『マスクが着けられません。』という意思表示をするカードやバッジを作成して必要な方に配布し対応をしています。本町においても取り組む考えはないのか、お伺いします。

### 答弁要旨

新型コロナウイルスの感染症につきましては、感染者数が減少し、

緊急事態宣言も解除されました。感染拡大防止のため外出時のマスクの着用は新しい生活様式の一つとされています。議員ご指摘のとおり、疾患や発達障害をはじめ感覚過敏によってマスクの着用が困難な方がおられます。感覚過敏、皮膚の病気、呼吸器の病気、発達障害等が原因で、マスクを着用すると、肌に痛みを感じたり、気分が悪くなったり、身体に異変が生じてしまう方々です。

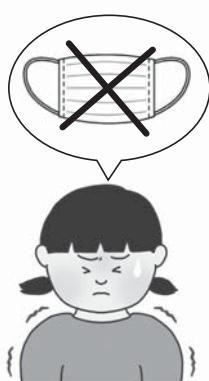
実際、マスク着用が一般的になつている今の生活では、マスクを着用できないことに対する無理解や偏見によつて誹謗中傷にさらされてしまつたや、また厳しい周囲の視線を避け

事情を理解し、ソーシャルディスタンスや、大きな声で会話しないなどの感染予防の配慮も必要と考えます。

現在、厚生労働省や北海道のホームページにマスクの着用が困難な状態にある方への理解について周知がされていますので、本町とい

たしましても町広報や町ホームページ、町公式アカウントなどのSNSを活用して周知するとともに、マスクの着用が難しい方には、マスク着用が難しい方には、マスク困難者への支援団体が作成した意思表示カード等を活用し、窓口で配布するほか、意思表示カードのデータをホームページに掲載し、必要な方が利用できるようにしたいと考へております。

今後においても障害などを理由とする差別がなくなり、相互に人格と個性を尊重しあえる共生社会の実現に向け取り組んでまいりますことを申し上げ答弁といたします。



### 質問要旨

ウイズコロナ下での、各種団体地域における生活、事業の推進のためのルール等のあり方について

現在、町内各地域において、飲食をともなう会合等については、中々、開催しづらい状況にあります。

その様な中、町では例年の恒例行事であります三団体による新年交歓会を、しっかりと感染防止対策を取つた上で、例年とは違う形態で開催するとの伺つております。

この様に行行政が率先して感染防止対策を取つた上で行事を行うことは、今後しっかりと感染防止対策を取れ



議席番号6番  
伊藤 充章議員

ば、町内各団体においても様々な行事を開催する事が出来ると言う良い見本となり、大変素晴らしい事と思います。

そこで、より各種行事を開催しやすくするために、自粛要請の解除基準をきちんと設け、各種行事を開催する際のルールを作成し、明確に周知する事が望ましいと考えます。

また主催者に対して、蔓延防止をより確実にするためのパーテイション等の貸し出しを出来る様にするか、或いは各地区生活館等に備品として整備をしておけば、より開催が容易に成り、結果的には高齢者等のフレイル対策にも繋がるものと考えられます。

はじめに、感染症発生当初は、感染症防止対策が明確でなかったこともあり、休館や使用自粛のお願いをしていた期間もありましたが、その後、国及び北海道から感染症予防対策の内容・方法が示されたことから感染症予防対策にそつてご利用いただいております。

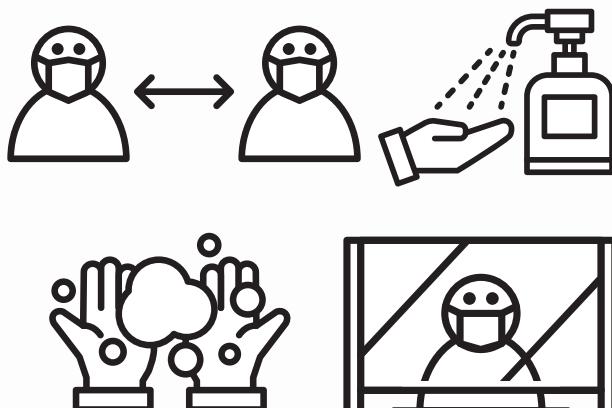
## 答弁要旨

各団体や住民の皆さんには、感染状況等により注意喚起チラシを各町生活館などの公共施設や医療機関、各種施設等に掲示をお願いし周知しております。今までも8月末の全道の緊急事態宣言の発令による不要不急の外出自粛や10月からの緊急事態宣言解除後以降も、秋の再拡大防止特別対策、12月からは年末年始における感染症拡大防止に向けて周知をしております。

現在は、「3密の回避」や「距離の確保」「マスクの着用」「手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策の実践のほか、換気の徹底、飲食の際の感染リスクの回避をお願いしているところであります。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止といった新年交礼会につきましては、ウイズコロナ・ベストコロナを見据え、感染予防対策を徹底し、開催する予定であります。

議員ご質問の「各種行事を開催する際のルールの作成」につきましては、特に飲食を伴う行事や会議等の基準と思われますが、現在、複数人での飲食については、「短時間で」「深酒をしない」「大声を出さない」「会話の時はマスクを着用する」等を徹底することで感染リスクの回避となっており、各種行事等を開催する際には、これからも引き続き、感染状況に応じ各種感染予防対策について、空知総合振興局と各市町長の共同メッセージ等でお知らせしてまいりますので、各団体等においては、感染予防対策を参考のうえ行事内容等により判断し開催していただきたいと考えております。

また、生活館等へのパーテイション等の貸し出しや備品の整備につきましては、各町自治会等に意向を確認のうえ対応してまいりますことを申し上げ答弁といたします。



## 質問要旨

上砂川町事業者支援給付金について

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業者を対象に令和2年度、3年度に事業者支援給付金を支給されておりましたが、来年度においても支給の継続と申請対象期間を一年間に拡大して支給をしていただけないでしょうか。現在のコロナ禍での景気低迷のなか、この支援金により助けられた事業者や個人事業主もおり、大変感謝されていると聞いております。町としてのお考えをお伺い致します。



議席番号1番  
石田 浩二議員

## 答弁要旨

上砂川町事業者支援給付金につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業者の一時的な売上の減少に対する支援策として、令和2年度に新設した制度であり、本年度を含め二か年にわたり、売上収入減少率に応じて支援金を給付してきましたところであります。

これまでの実績につきましては、令和2年3月から同年8月までの申請対象期間に37件685万9千円、令和2年9月から令和3年2月までの申請対象期間に19件370万円、令和3年3月から同年8月までの申請対象期間に23件438万7千円を給付しており、概ね町内事業者の約半数が本制度を活用し、その財源としては、いざわら国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しております。

議員ご質問の「来年度における本制度の継続と申請対象期間の拡大」につきましては、現在のところ未定ではありますが、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況と町内事業者における経営状況の双方を適切に現状分析するとともに、今後示されることとなります。国の補正予算による地方創生臨時交付金の配分額を踏まえたうえで、申請期

間も含め商工会議所とも協議をしながら、必要な対応について都度検討してまいります事を申し上げ答弁と致します。

## 令和4年第1回上砂川町議会定例会を傍聴しませんか？

本会議は、簡単な手続きで自由に傍聴することができます。町議会の活動などを知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

※日程は変更となることがあります。

○議会日程：3月9日（水）～16日（水）

○傍聴可能日：3月9日（水）・10日（木）・16日（水）

## 行政常任委員会報告

令和3年12月16日、令和4年1月11日に委員会を開催し、令和4

年1月5日午後5時より2年振りに実施予定の研修視察について検討を行いました。

視察内容についていくつか候補が挙がりましたが、その中から次のが2件と決定しました。

1 SDGsの取り組み  
2 自治体によるSDGsの達成に向け、優れた取組について

※「ごみ」ゼロに向けた取り組み  
※住民自ら「ごみ」を細分別し再資源化する取組について



## 町内行事への参加報告

### 上砂川町新年交礼会

1月5日午後5時より2年振りに新年交礼会が開催され、出席をしました。本年は各団体、事業所からの参加人数を制限しての開催となり、例年より参加者が少なかつたですが、町長、議長の挨拶、会議所会頭の乾杯で始まり、それぞれ参加者は新年の挨拶を交わし、この1年がコロナに負けず、元気いっぱい素晴らしい年となることを誓い、連合会長の締めの乾杯で終了しました。

（記 吉川 洋）



出席者（7名）  
高橋成和・吉川洋・小澤一文・  
越前等・笹木笑子・藏根高史・  
石田浩二

## 上砂川町ふるさと納税

ふるさと納税は「故郷を大切にしたい」「ふるさとの発展に貢献したい」と言う気持ちを形にする為に創設された制度です。その寄付金のうち、2千円を超える金額が所得税と個人住民税から控除されます。

上砂川町は、健康で笑顔があふれ、いきいきと暮らせる町を創りたい、住み慣れた町で安心して暮らしたいという町民の思いを実現するため、まちづくりに取り組んでいます。上砂川を思い、応援したいと方々の思いを「ふるさと納税」という形で活用するため、「上砂川がんばる基金」を設置して各種事業に活用しております。これまでに上砂川町の郷土芸能である獅子神楽の衣装等の更新や、平成30年度開園の認定こども園「ふたば」の図書購入、大規模災害時に使用する発電機能を備えた防災対策用テントの購入、小中学校の教育環境の充実を図るために机・椅子の更新などを行ってきました。

町外にお住まいのご家族・友人・知人の皆様に上砂川の「ふるさと納税」についてお話を聞いていただけますようお願い申し上げます。  
詳しくは、上砂川町ホームページ

及びふるさと納税サイト「さとふる」にて詳細をご覧ください。

(記) 吉川 洋

### 返礼品の一例

(記) 吉川 洋



【きまぐれ牧場のウォッシュチーズ】  
表紙掲載のチーズ3種類セットが  
おすすめです



【スフェラースティックW】

LEDペンライトです  
ソーラー電池式なので  
災害時にも活躍します

## 編集後記

今は、1月18日の冬本番、毎日除雪に追われる日の時期に、この編集後記を書いております。

昨年12月末からの新型コロナウイルス感染症第6波による急拡大、

1月に入りオミクロン株により、滝川や砂川など、この近郊でも感染拡大を受けて、私たちも手洗い、うがい、不織布マスク着用など、より一層気を付けていかなければならな

いと思います。

札幌市をはじめ、北海道各地でも急拡大しております。また、道がPCR検査と抗原検査を実施しております。空知管内では岩見沢の薬局で予約不要で抗原検査、赤平の薬局では予約制ではありますがPCR検査と抗原検査の両方行なうことができます。無料はありがたいと思

ります。

町内では昨年11月に新しい鶴若葉生活館がオープン。12月には役場新庁舎がフルオープン。特に役場は「人に優しく誰もが安心して利用できる」庁舎として住民の利便性がより高まると期待しています。

年末には燃料費の高騰に対応し、全世帯に対して家計負担の軽減を図るための燃料引換券(5千円)を交付、子育て世帯には臨時特別給付

金(10万円)を一括支給、また、新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目)の準備が進められていますと聞きます。

(記) 越前 等

